

小田急百貨店の社会貢献活動

小田急百貨店では、百貨店の集客力・情報発信力を生かし、お客さまの参加のもと、営業を通じて社会貢献につながる活動を行なっています。以下に事例を報告いたします。

災害復興の支援

駅直結のロケーションを生かし、商品販売や展示イベントなどを通して被災地の支援につながる活動を行なっています。

■ 東北高校生によるスタディーツアー支援（新宿店）

会期：2016年5月4日（水・祝）

東日本大震災の復興支援として宮城県の高中生らが自らセレクトした特産品を販売するチャリティーイベントを開催しました。

このイベントは、認定NPO法人カタリバが企画・運営する「全国の高校生を集めたスタディーツアー」に当社が賛同し、その活動を支援するために企画したもので、売上金を活動資金として寄付しました。

8月には、宮城県女川町にて、全国の高校生約30名が参加して現地の視察、被災者との対話などを経て、行動目標を設定するツアーを実施しました。



▲全国の高校生が参加して行なわれたスタディーツアーの様子

■ 「くまもとTASUKIプロジェクト 熊本応援復興フェア」(新宿店)

会期：2016年5月16日（月）～31日（火）

熊本地震被災地の復興に向けた取り組みとして、熊本県内の事業者からなる「くまもとTASUKIプロジェクト」と連携し「くまもとTASUKIプロジェクト 熊本応援復興フェア」を開催しました。熊本県内の6社が出展し、和菓子や麺類、調味料などの地域特産品を販売しました。初日には熊本県の人気キャラクター「くまモン」も駆けつけるなど、多くのお客さまで連日賑わいました。



■ 星に願いを！熊本に元気を！たなばたチャリティ(新宿店、町田店、藤沢店)

会期：2016年6月15日（水）～30日（木）

七夕にちなんで、各店の対象フロアでお買い物いただいたお客さまに星型のシールを配布。夜空を模したボードに貼っていただくチャリティ企画を開催しました。ボードは7月7日まで展示し、シール1枚につき10円分を熊本県に義援金として寄付しました。



産学連携事業の推進

当社では、様々なイベントや商品の開発において、学校と連携し、学生が普段学んでいることを実務に生かす場を提供することで、学生と地域のお客さまを結ぶ活動を行なっています。2016年は、町田店の開店40周年を契機に、桜美林大学、玉川大学、相模女子大学と連携した活動を行ないました。

■ 桜美林大学「黒板アートディスプレイの制作・展示」

制作：2016年1月21日（木）～2月15日（月）、展示：2016年3月2日（水）～15日（火）

桜美林大学の学生と協力して、学生が描く「黒板アート」を取り入れたディスプレイを店内6ヶ所に展示しました。チョークで描いた暖かみのある作品は、多くのお客さまの関心を集めました。また店内各フロアに制作スペースを設け、実際に描いている様子も公開し話題を集めました。



■ 玉川大学「開店40周年記念イベントのプロデュース」

会期：2016年9月14日（水）～27日（火）

お客さまから大切な方への「ありがとう」の想いを伝えるメッセージを募り、玉川大学の学生が演出した特設会場に展示するイベント『ありがとうの贈り物』を開催しました。プロモーションの一環として、メッセージの募集期間には同学の学生が制作したCMも放映しました。



■ 相模女子大学「学生が製造を手がけた梅酒の販売」

発売日：2016年9月14日（水）

相模女子大学構内で収穫した豊後梅（ぶんごうめ）を、相模原市の久保田酒造の吟醸酒で漬けたオリジナル梅酒を販売。梅の収穫から下準備、漬け込み作業などを学生が中心となって行ないました。瓶のラベルも学生がデザインし、当社酒売場担当が選んだものを使用しました。

